

トヨタ純正**バックブザー****取付要領書**

このたびは、トヨタ純正バックブザーをお買い上げいただきましてありがとうございます。
 本書は、バックブザーの取り付け要領について記載してあります。
 取り付けの前に必ずお読みいただき、記載された内容に従って正しい取り付けを行ってください。
 本書は、必ずお客様にお渡しください。

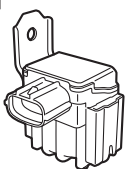
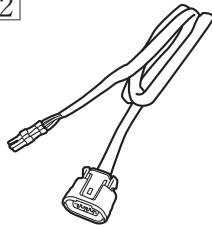
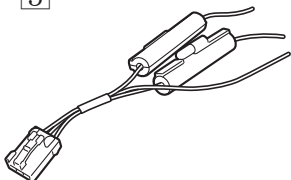
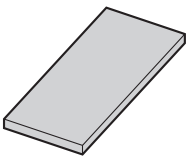
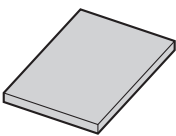
品 番

品 番

086A2-B2020

構成部品名

【取り付け前に以下の表に従って部品がそろっているかご確認ください】

			NO	品 名	個数
1		2		3	
4		5		6	
7		8		9	
10		11		12	
		13		14	
				取付要領書 (Web)	1

取り付けに必要な工具

クリップクランプツール、クリップリムーバー、ドライバー（プラス）、精密ドライバー、ビニールテープ、保護テープ、脱脂剤、ウエス、ハサミ、ニッパー、プライヤー、コンビネーションレンチ（10mm）、ソケットレンチ（10mm）、キリ

トヨタ自動車株式会社

取り付け上の注意

この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

⚠注意 … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を破損するなどの恐れがあります。

💡アドバイス … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

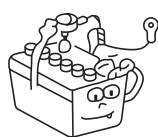
- 本文中の **⚠注意** は必ず取り付けに反映させて作業を行ってください。もし **⚠注意** を無視して取り付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障につながる恐れがあります。
- 取り付け作業を容易に進行するために **💡アドバイス** をお読みください。
- 取り付け作業は安全な場所に車を駐車させ、パーキングブレーキを確実に作動させてください。
- 車両部品の取りはずしに際しては、クリップ、スクリュー、ボルト類は再使用しますので、紛失や損傷させないよう部品毎に整理し、復元作業時には間違えないよう配慮してください。
また、車両に傷を付けないよう取り扱いには、十分注意してください。
- 電動パーキングブレーキ付車は必ずスイッチの表示灯が点灯していることを確認してからバッテリー(－)端子をはずしてください。

取り付ける前に

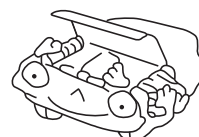
・車両のドアロック、パワーウィンド、ランプ、ホーン、ワイパー等の装置が正常に作動するか確認しておく。



・必ず、バッテリーの(－)ケーブルははずしてから作業を行う。

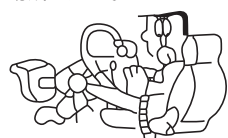


・大切な車を守るために必要部分にカバーを取り付ける。

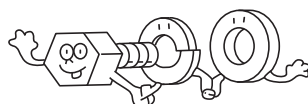


部品の取り付けは

・運転のじゃまや、居住性をそこなわない場所を選ぶ。



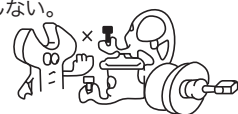
・ボルト、ナットの締め付けは必ず規定のものを使用する。



・ボルト、ナットの締め付けには寸法のあった工具を使用し、トルク指示のあるものはトルクレンチを使用する。



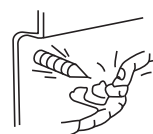
・車両のボルト、ナットなどを使用して共締めする場合、ステアリングやブレーキ燃料系など重要部品のものには使用しない。



・締め付けを行う際、ワイヤーハーネスなど挟み込んでいないことを確認してから行う。

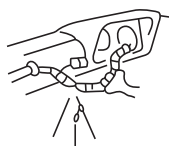


・取り付け穴をあける場合、必ず裏側に何も無いことを確認すること。



配線は

・車両のワイヤーハーネスはコネクタの嵌合不良や損傷防止のため引っ張るなど力をかけないこと。



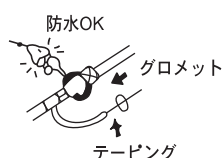
・配線作業時にコネクタなどはブラブラしないように幹線にテープ巻きするかクランプなどを使用して固定すること。



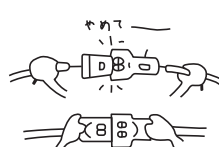
・ワイヤーハーネスは取り付け部品での噛み込み、板金エッジ可動部品、樹脂バリと干渉しない場所を配線し、確実に固定すること。



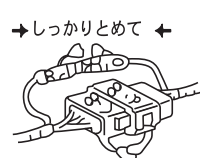
・室外から室内への配線にはグロメットを使用する等確実な防水対策を施すこと。



・コネクタをはずす場合はコネクタ本体を持ち、ハーネスを引っ張らないこと。

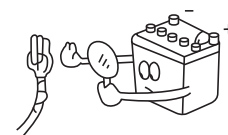


・コネクタやターミナルは、確実に接続し、必ず確認を行うこと。



取り付けが終わったら

・バッテリーのケーブルを復元する前に配線状態を確認する。



・取り付けした用品の作動確認を行うと同時に、車両の機器、装置が正常に作動することを確認する。

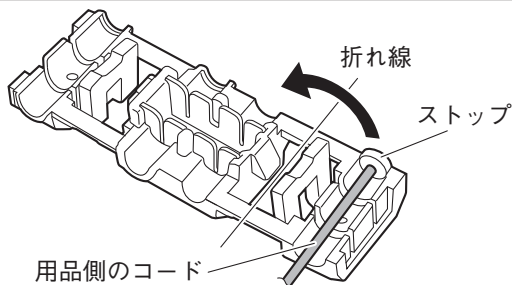


エレクトロタップの分岐接続方法

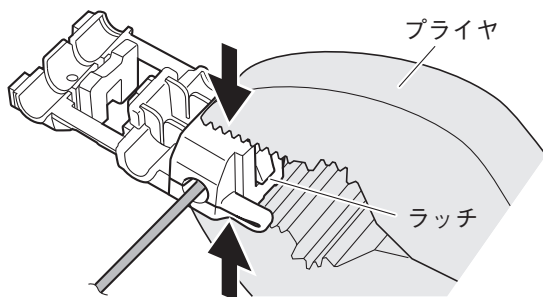
1.エレクトロタップの使用上の注意事項

- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
- (2) エレクトロタップは、他の用品が装着されている場合でも必ず、車両ハーネスに接続してください。
- (3) エレクトロタップの接続時に、クリック音と合わせてロックが確実に嵌合した事を確認してください。
- (4) 接続するコネクタの端子番号及び、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
- (5) 同一コネクタに複数のエレクトロタップを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (6) ヒンジ部が破損しても確実にロックできれば性能上問題ありません。
- (7) 一度使用したエレクトロタップは再使用しないでください。誤って接続した場合、エレクトロタップを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

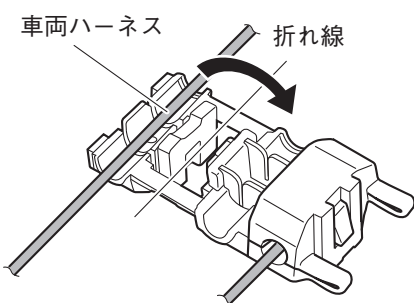
2.エレクトロタップの接続手順



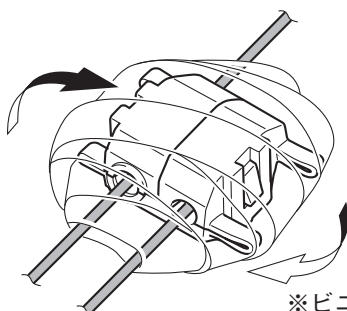
- (1) 用品側のコードを左図に示したストップに突きあて、矢印の方向にたたみ返してください。



- (2) プライヤでラッチがかむまで締め付けてください。



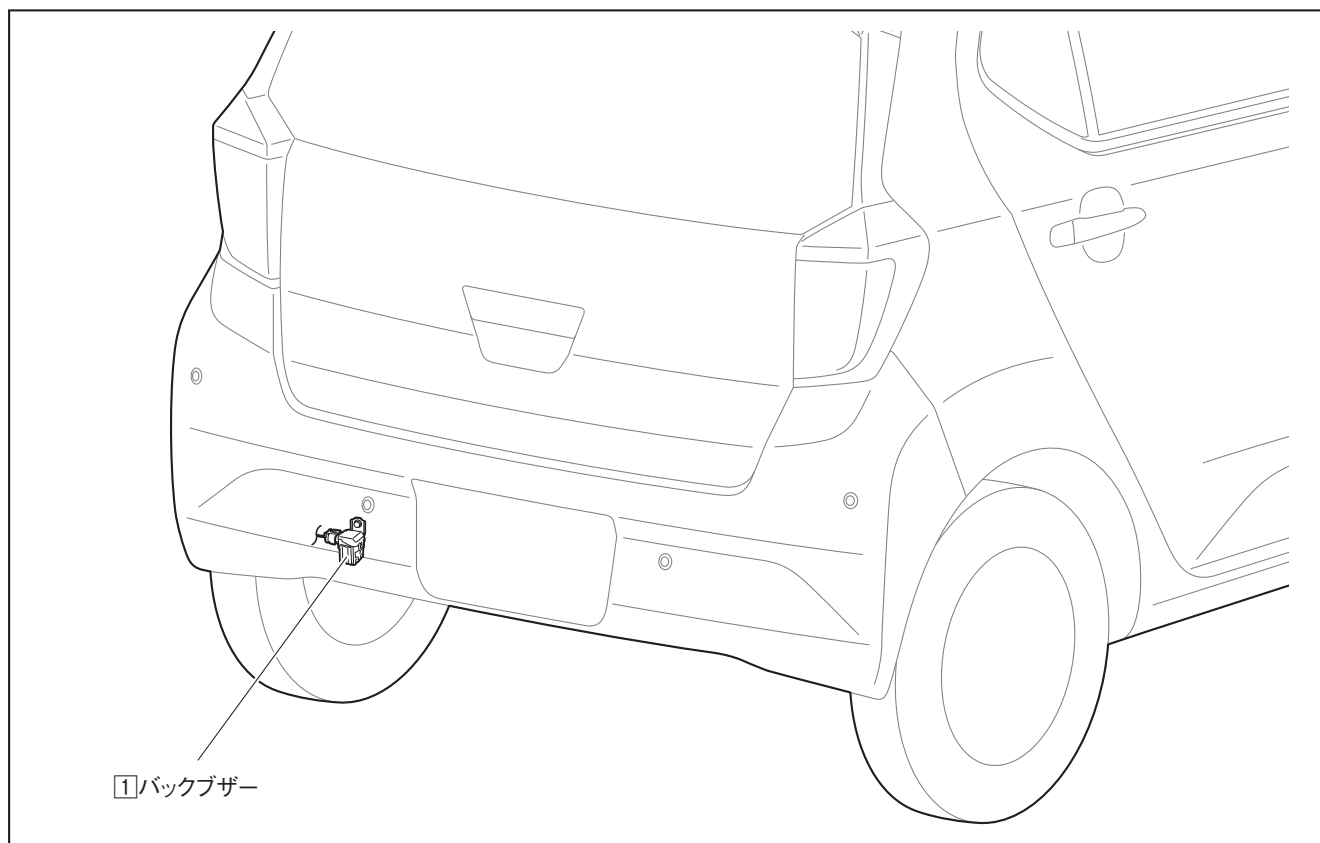
- (3) 取付要領書本文指示の車両ハーネスを通し、矢印の方にたたみ返して、プライヤでラッチがかむまで締め付けてください。



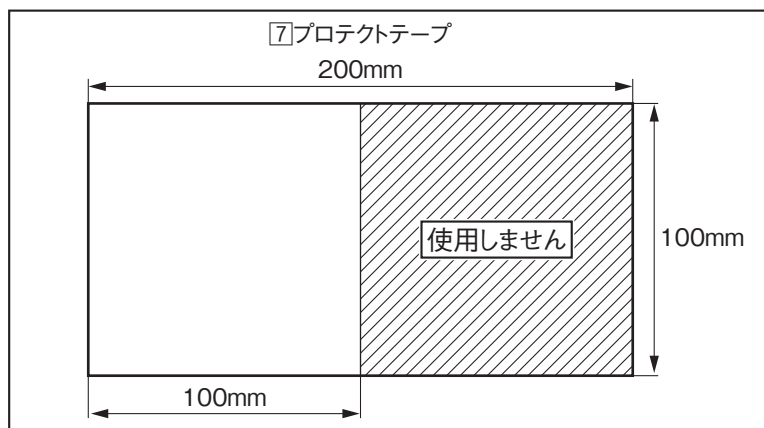
- (4) エレクトロタップにビニールテープを巻き付けてください。

※ビニールテープを巻き付けてください。

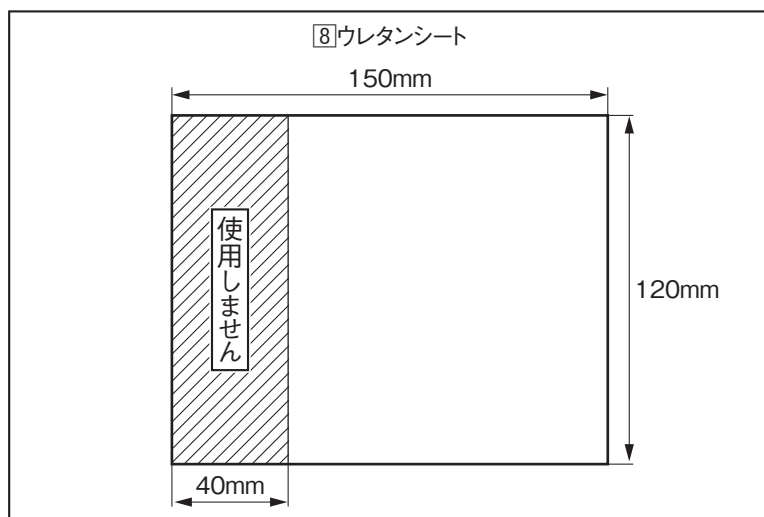
取 付 概 要



事 前 準 備

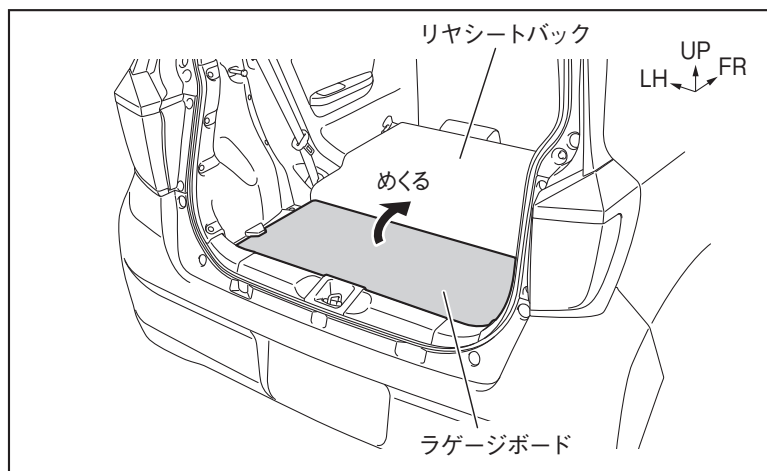


(1) ⑦プロテクトテープを半分にカットする。



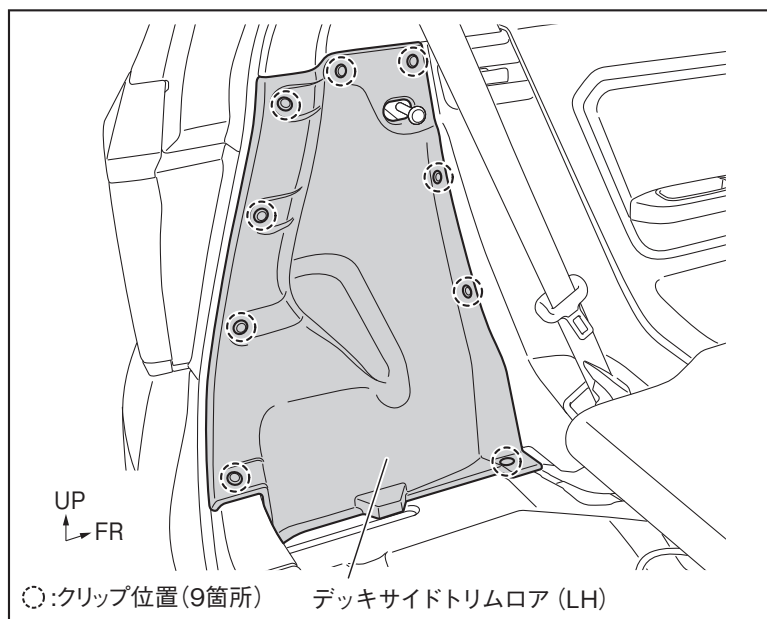
(2) ⑧ウレタンシートを左図寸法通りにカットする

車両部品の取りはずし要領

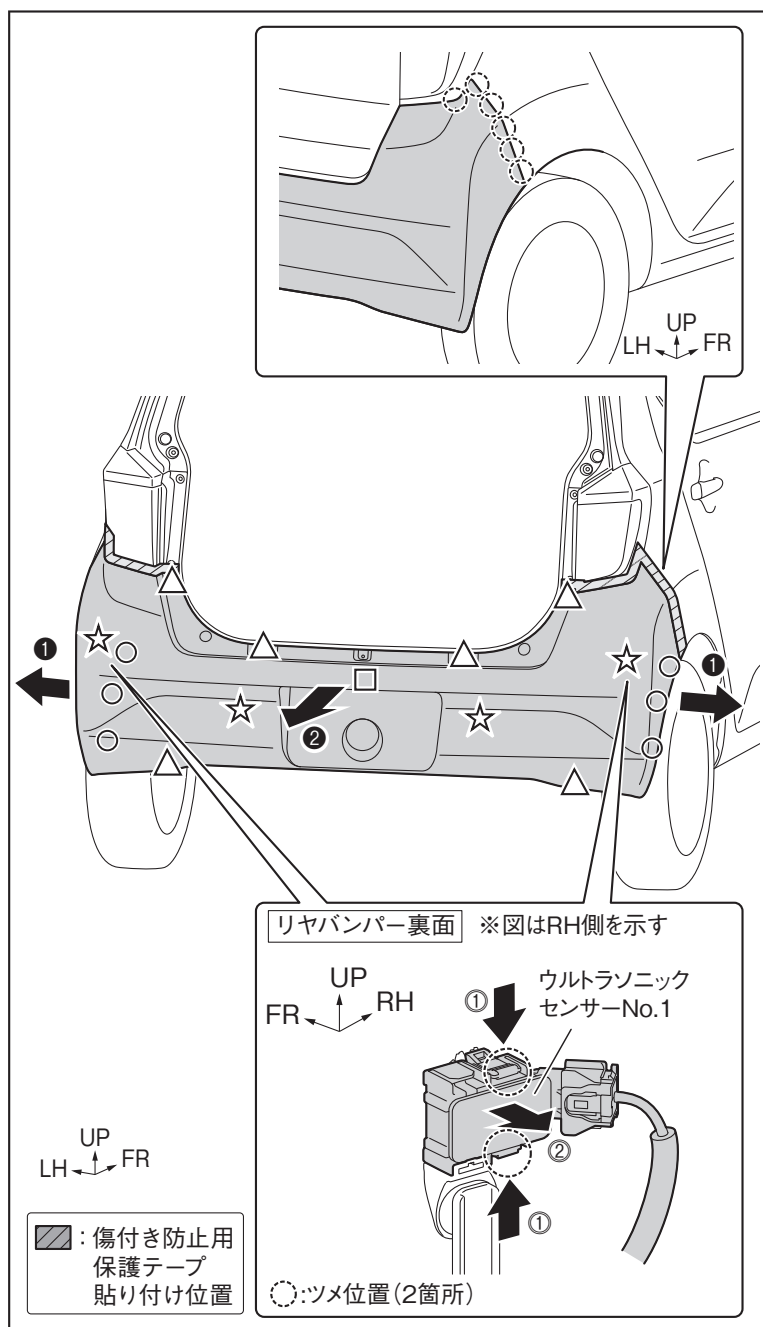


1. 車両部品の取りはずし

(1) リヤシートバックを前方に倒し、ラゲージボードをめくる。



(2) デッキサイドトリムロア (LH) を取りはずす。



(3) ボルト、クリップを取りはずし後、矢印①
の方向へ引き、ツメのかん合をはずす。

○ツメ：左右各6箇所

△クリップ大：6箇所

○クリップ小：左右各3箇所

△注意

・ 取りはずしたボルト、クリップは再使用し
ますので大事に扱ってください。

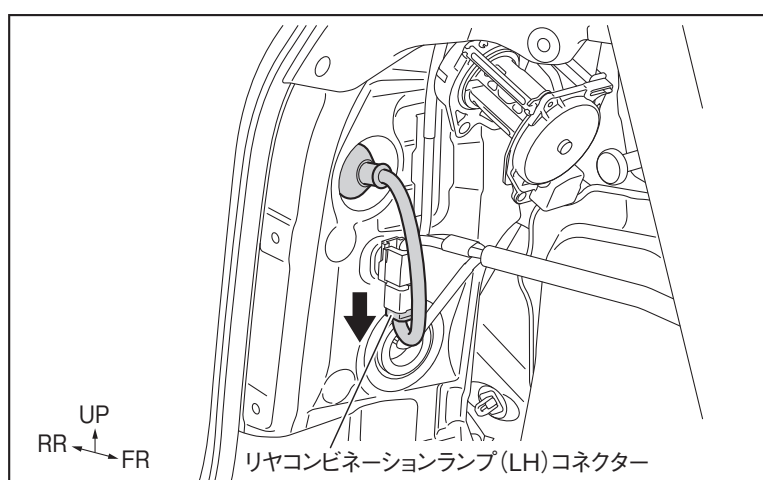
(4) 左図を参照し、ウルトラソニックセンサ
No.1のツメを矢印①の方向に押し、かん
合を外してウルトラソニックセンサNo.1本
体を矢印②の方向へ取りはずす。

△注意

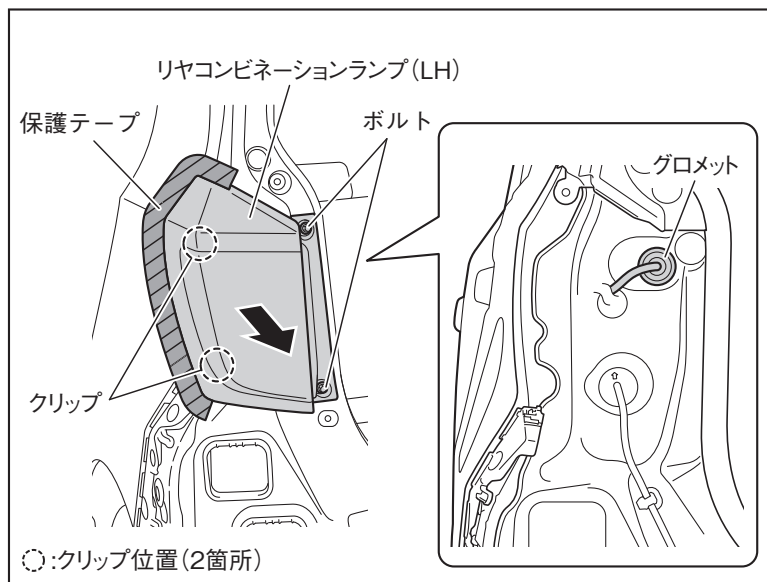
・ ウルトラソニックセンサNo.1のコネクタ
は切り離さないでください。コネクタを切
り離した場合、ソナー機能検査が必要と
なります。

(5) リヤバンパーを取りはずす。

(②矢印)



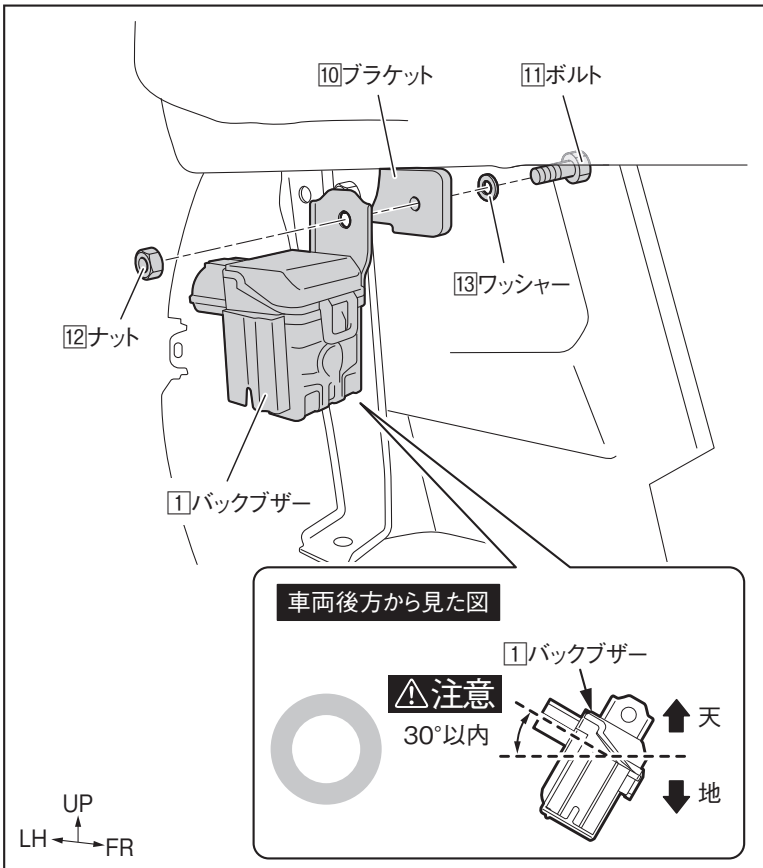
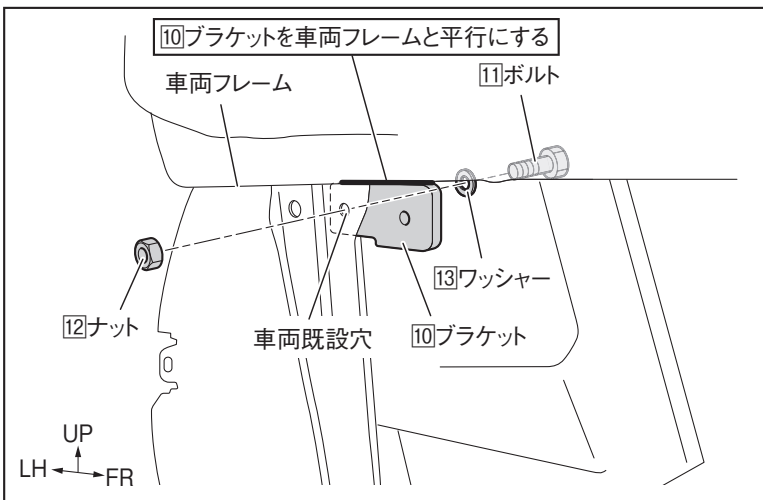
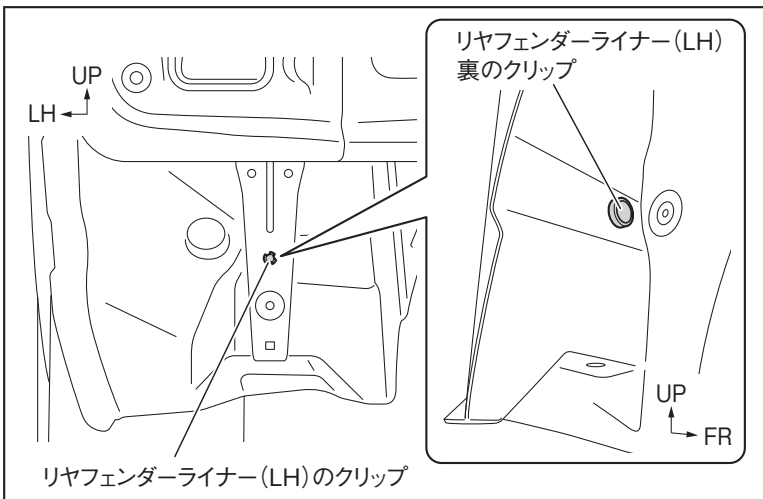
(6) デッキサイドトリムロア (LH) 裏のリヤコ
ンビネーションランプ (LH) のコネクター
の接続をはずす。



(7) ボルト (2箇所) をはずし、リヤコンビネーションランプ (LH) のかん合をはずす。

(8) 左図位置のグロメットを取りはずし、コネクターを引き抜く。

取 付 要 領



1. バックブザーの取り付け

(1) リヤフェンダーライナー (LH) の左図位置クリップを取りはずす。

(2) 左図を参照し、車両既設穴に⑩ブラケットを⑪ボルト、⑬ワッシャー、⑫ナットで取り付ける。

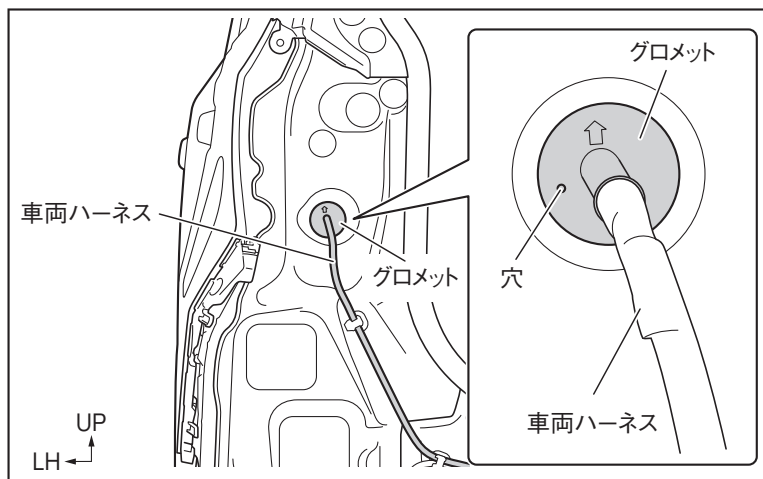
⚠ 注意

- ・ブラケットと車両フレームが平行になるように取り付けてください。
(平行に取り付けなかった場合、ブラケットと車両フレームが干渉し、異音の発生、またはブラケットの破損のおそれがあります。)
- ・**10** ブラケットにガタツキ、緩みが無いように取り付けてください。

(3) 左図を参照し、**10**ブラケットに**11**ボルト
13ワッシャー、**12**ナットで**1**バックブ
ザーを取り付ける。

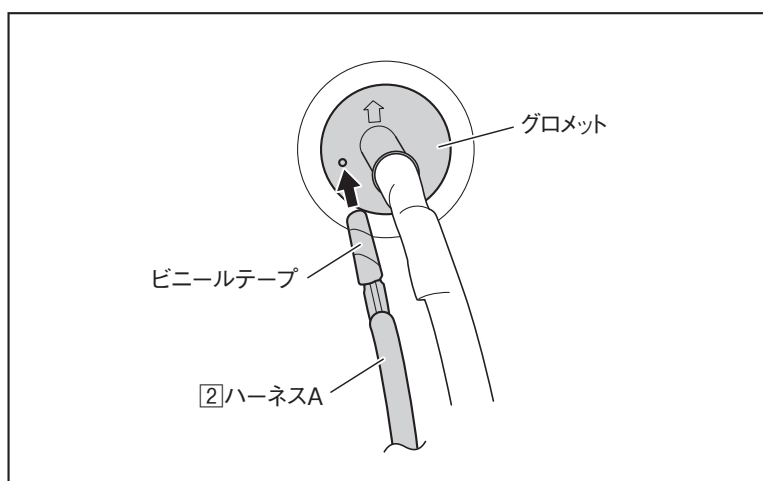
⚠ 注意

- ・ ①バックブザーの取り付け角度は地面に対して必ず水平（水平より30° 以内）に取り付けてください。
（上記作業を守らなかった場合、製品の故障、破損につながるおそれがあります。）
- ・ ①バックブザーにガタツキ、緩みが無いように取り付けてください。



2.ハーネスの配線

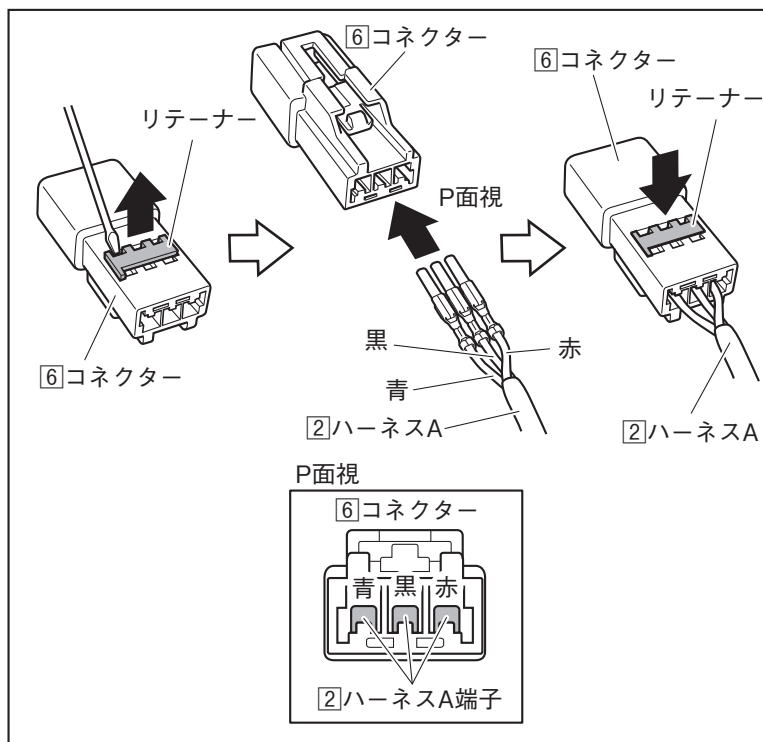
- (1) 左図位置の車両グロメットにキリで約5mmの穴をあける。



- (2) ②ハーネスAの端子をビニールテープで保護し、グロメットの穴から車室内に引き込む。

⚠注意

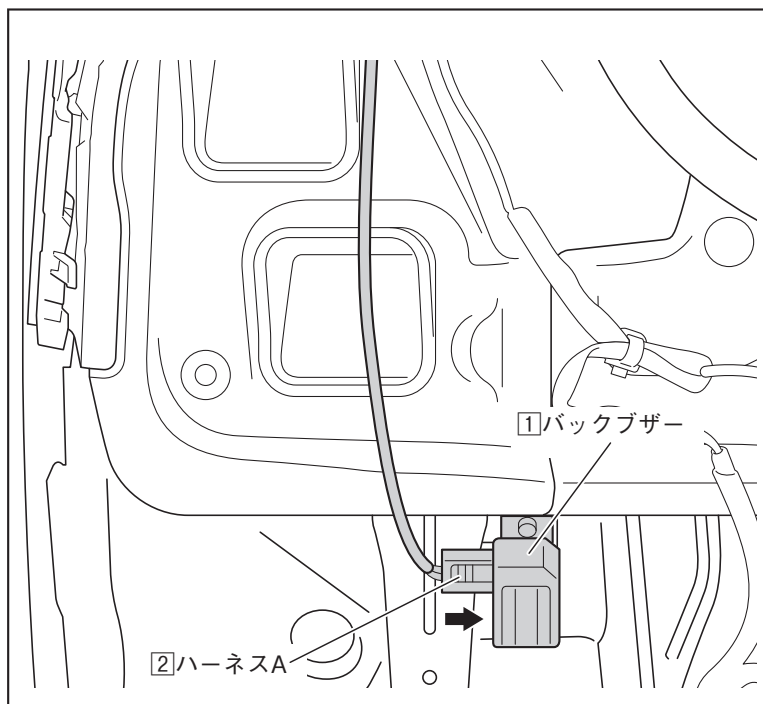
- ・グロメットを通す際、ハーネスAの端子を折らないよう慎重に作業を行ってください。



- (3) ②ハーネスAの端子に⑥コネクタを取り付ける。

⚠注意

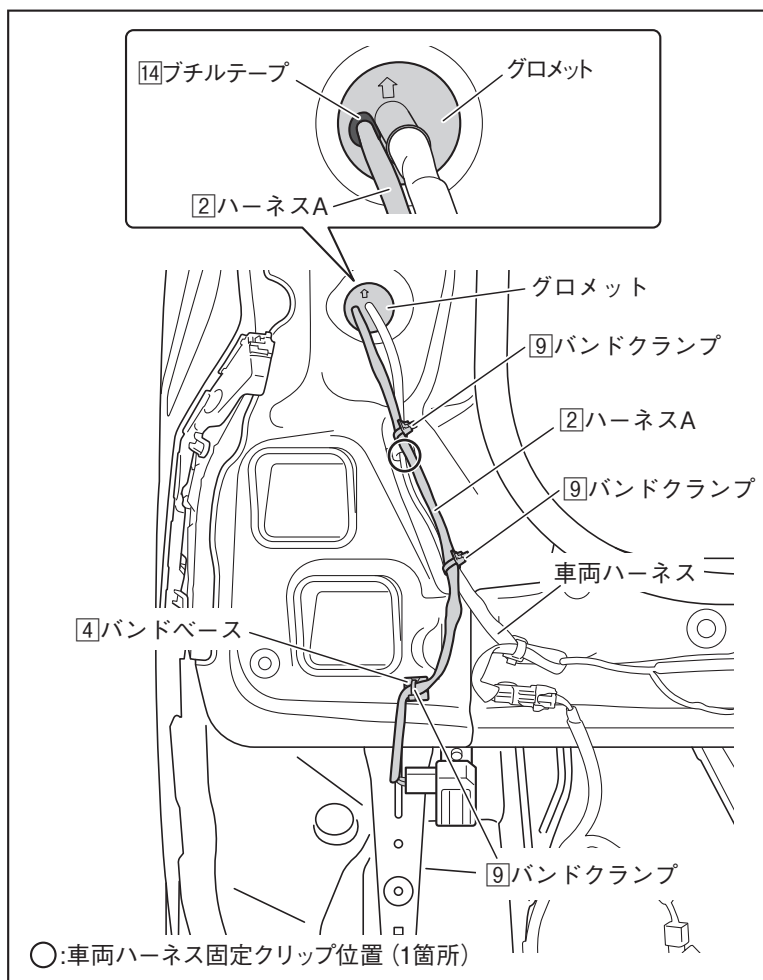
- ・端子を挿す場所を間違えないよう注意して作業を行ってください。



(4) ①バックブザーに②ハーネスAのコネクターを接続する。

⚠注意

- ・コネクターはカチッと音がするまで確実に接続してください。
- ・コネクター接続後、コネクターがはずれないことを確認してください。



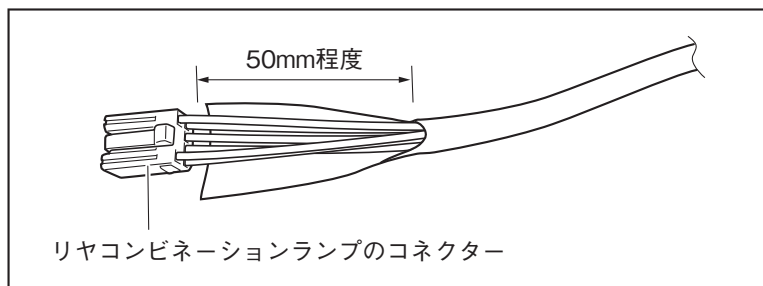
(5) 左図位置を脱脂後、④バンドベースを貼り付ける。

(6) 左図を参照し、②ハーネスAを車両ハーネス及び④バンドベースに⑨バンドクランプで固定する。

⚠注意

- ・たるみがないようにグロメット部で引き込む長さを調整してください。

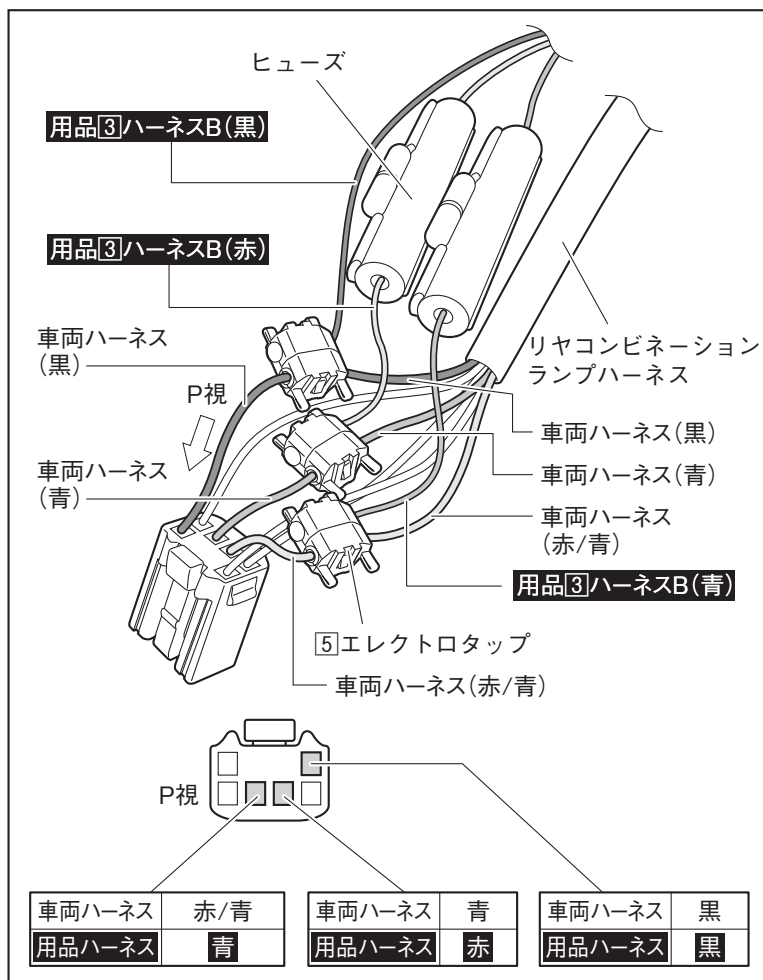
(7) ⑭ブチルテープを適量カットし、グロメットと②ハーネスAのすき間を塞ぐ。



- (8) リヤコンビネーションランプハーネスのチューブを50mmほどカットする。

⚠注意

- ・ハーネスを傷つけないように慎重に作業をしてください。

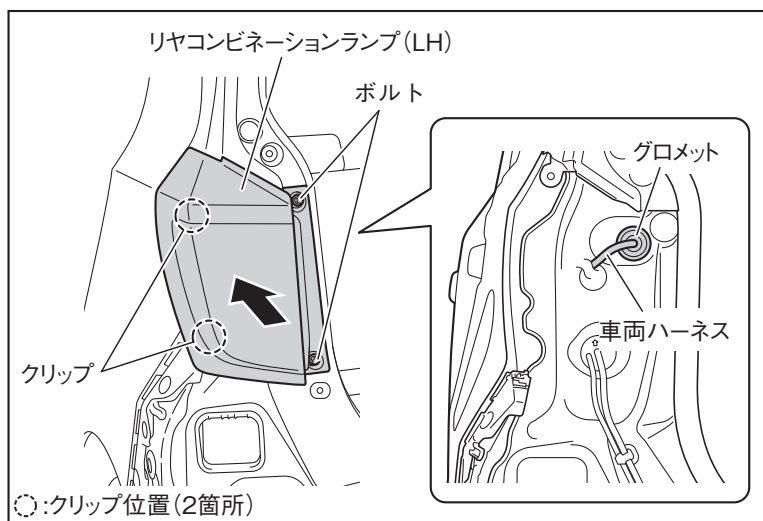


- (9) ③ハーネスBのハーネスをリヤコンビネーションランプハーネスコネクター根元に⑤エレクトロタップで接続する。

👉アドバイス

- ・⑤エレクトロタップの位置を1cm～3cm程度の範囲内でズラして取り付けてください。

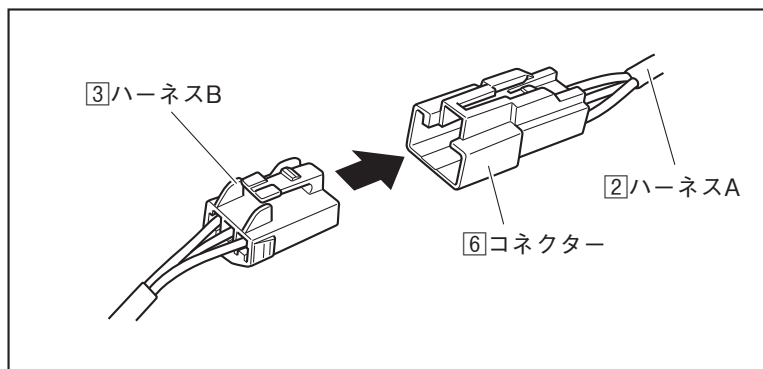
- (10) ⑤エレクトロタップにビニールテープを巻く。



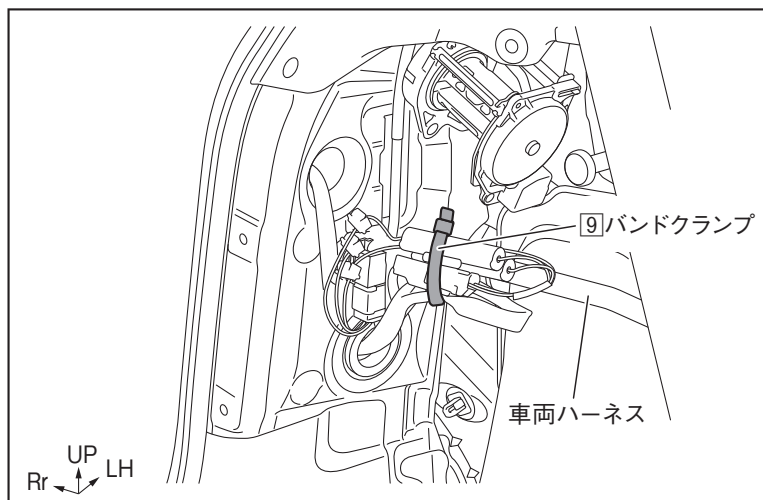
- (11) 左図位置のグロメットを取り付け、リヤコンビネーションランプのコネクターを接続後、車両に復元する。

⚠注意

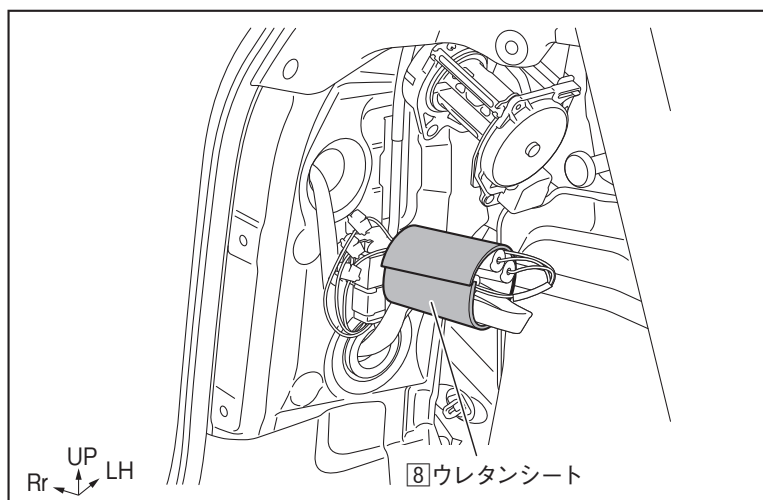
- ・締め付けトルク: $6.0 \pm 1.8 \text{ N} \cdot \text{m}$
- ・コネクターはカチッと音がするまで確実に接続してください。
- ・コネクター接続後、コネクターがはずれないことを確認してください。



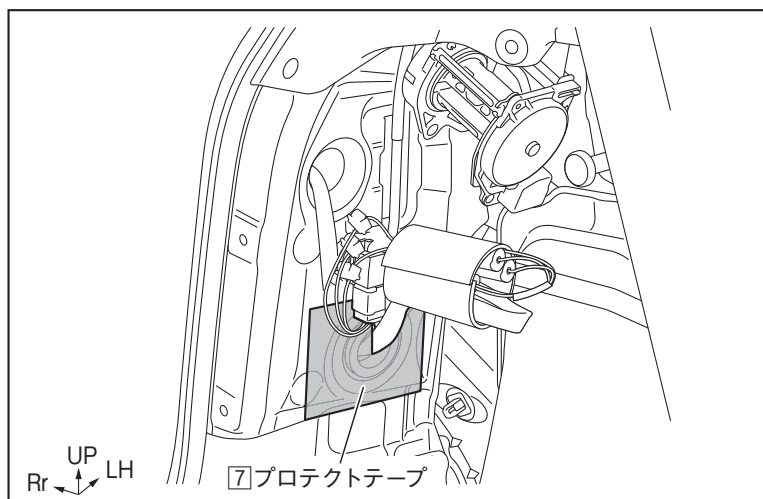
- (12) ②ハーネスAと③ハーネスBの⑥コネクターを接続する。



- (13) 左図を参照し、バックブザーハーネスの余長を束ね、⑨バンドクランプで車両ハーネスに固定する。



- (14) 余長部に⑧ウレタンシートを巻きつける。



- (15) ⑦プロテクトテープの切れ目からバックブザーハーネスを出し、グロメットを覆うように貼り付ける。

復元作業

はずした部品を元の位置に取り付け、保護テープを取りはずしてください。

⚠注意

- ・復元時に車両ハーネスを噛み込んだり、シャープなエッジに干渉したり、車両部品を破損させないように充分注意してください。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。
作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

最終確認

1. 取り付けの確認

- (1) 配線や取り付けに異常がないか点検する。
- (2) 特に車両ハーネスおよびバックブザー用ハーネスを無理に押ししたり、引っ張ったり、噛み込んだりしていないか点検する。また部品の締め付け忘れはないかもう一度確認する。

2. 作動確認

⚠注意

- ・輪止めなどにより、車両が動かないようにしてください。

バッテリーの（－）端子に車両ハーネスを接続し、バックブザーおよびリヤコンビネーションランプが下記の「作動確認要領」通りに作動するか確認する。

■バックブザーの作動確認要領

(操作手順)	(確認項目)
IG ON（エンジンは始動させない。）	バックブザーの消音確認。
↓	
IG ONのまま、 シフトレバーを「R（リバース）」へシフトする。	バックブザーの吹鳴確認。
↓	
シフトレバーを「R（リバース）」のまま、 テールランプを点灯させる。	バックブザーの音量が下がることを確認。
↓	
テールランプを点灯のまま、 シフトレバーを「R（リバース）」以外へシフトする。	バックブザーの消音確認。

■リヤコンビネーションランプの作動確認

リヤコンビネーションランプ（RH）を復元してから作動確認をする。

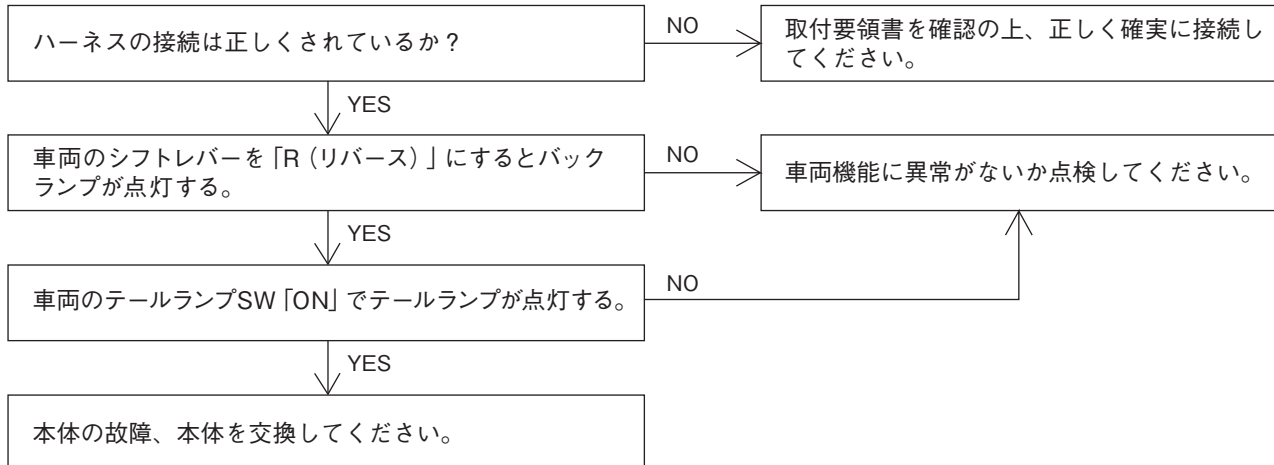
- ・テールランプの点灯
- ・ブレーキランプの点灯
- ・ハザードランプの点灯
- ・方向指示ランプの点灯
- ・リバースランプの点灯

トラブルシューティング

1. シフトレバー「R（リバース）」にて作動しない。

⚠注意

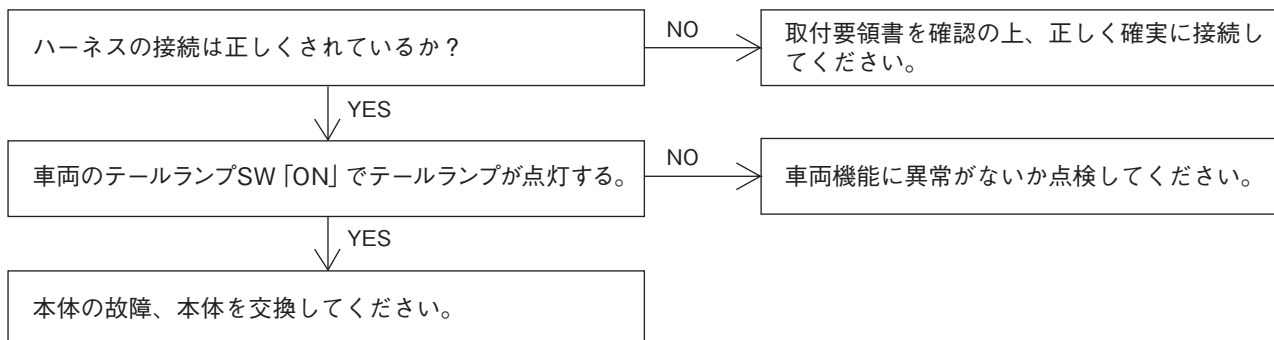
- ・ 輪止めなどにより、車両が動かないようにしてください。
- ・ 絶対にエンジンをかけた状態で作業しないでください。
（エンジン停止中の作動は、バッテリー上がりになるおそれがありますので注意してください。）



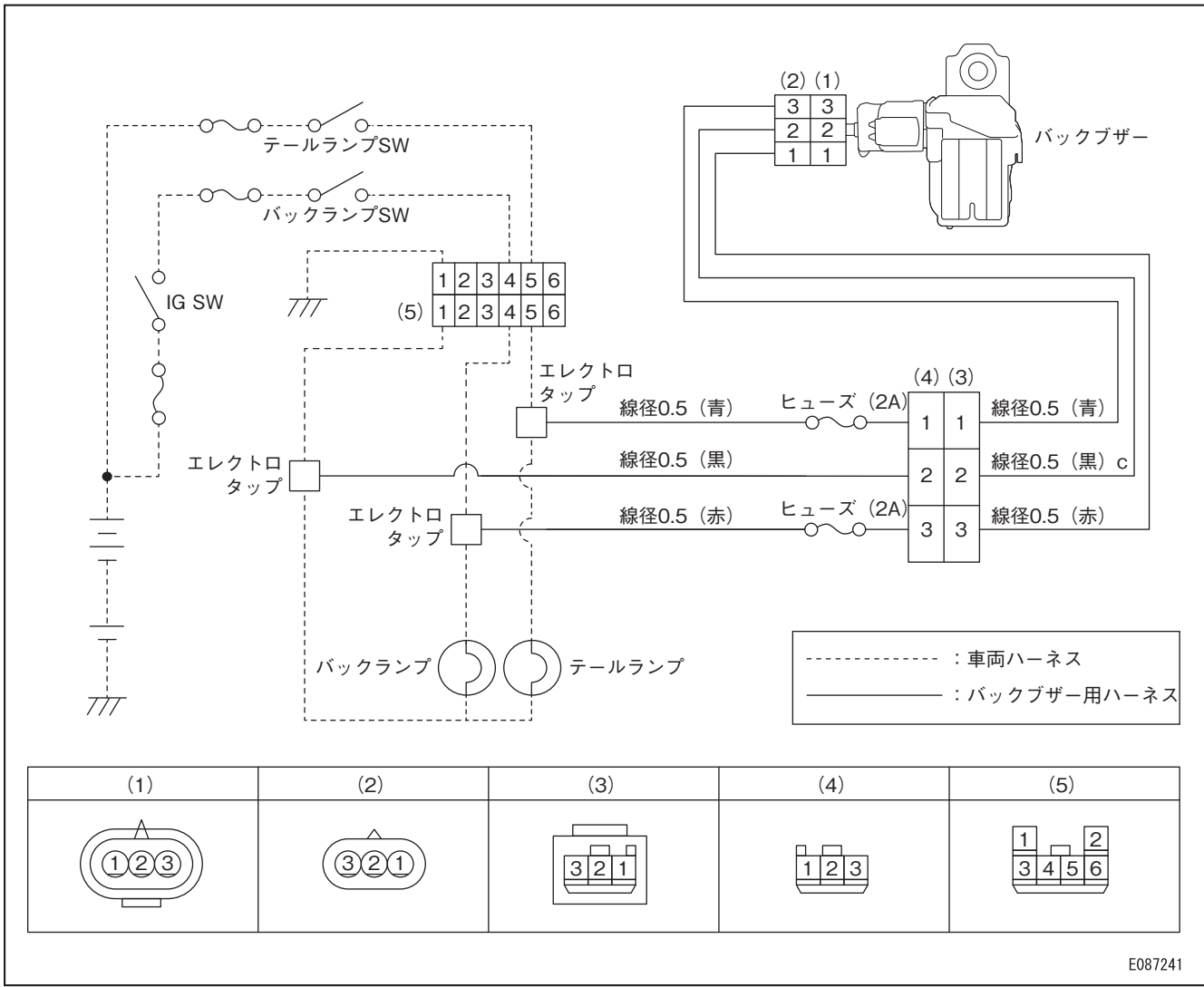
2. テールランプSW「ON」時、ブザー音量が下がらない。

⚠注意

- ・ 輪止めなどにより、車両が動かないようにしてください。
- ・ 絶対にエンジンをかけた状態で作業しないでください。
（エンジン停止中の作動は、バッテリー上がりになるおそれがありますので注意してください。）



配線図



E087241

仕 様

仕 様	
公 称 電 圧	12V
電 流	50mA以下
作 動 電 圧 範 囲	8～16V
使 用 温 度 範 囲	-30～+80℃
保 存 温 度 範 囲	-40～+85℃